

Mazzei
 Architectural Design Magazine
 Tokyo, Japan 1989
 Kober Cedergreen Rippon
 E. Fay Rippon – Architect

Chesterfield Town Center

センター名 /
 チェスターフィールド・タウンセンター
 所在地 / バージニア州リッチモンド市
 モール延床面積 / 約1,900m²
 ディベロッパー / ドンホー社 オブライエン社
 オープン / 1988年



リッチモンドの夜に映えるファサード。ハイウェイからの視界を意識しており、ナイトタイムは映画を楽しむ客などで賑わう

実証的なデータを
 大切にす

コーバ・リボン・アソシエーツ社は古い。50年以上の歴史を持つ。35年も前にオープンモール形式のショッピング・センターを作っている。ジョン・ジョーディも籍を置いていた。だが、古いというのは社歴だけであって、実際の活動は若々しい。クライアントのニーズを分析し、ユーザー、そして市場を満足させる建築を可能にするCADシステムは先駆的なものであり、マーケティング・アーキテクトとしての地位を不動のものにしている。

1950年代から
 女性を対象にした計画で成功

コーバ社は1955年、オープンモールのショッピング・センターを初めて作った。それは「ピンポンのように買い物をして歩く」といわれる女性を徹底調査した結果である。現在使われているCADシステムにもその集積が生かされている。

● ケース Δ KOBER RIPPON ASSOCIATES,

コーバ・リボン・アソシエーツ社

オフィスはカルフォルニア州ロサンゼルス
 のダウンタウンにあり、社長はリボン
 氏が務めている。チャイルドケア・セン
 ターやコミュニティ・ミーティングルー
 ムを持ったショッピングモールのほか、
 学校施設、工場など活動の幅も広い。



E・フェイ・リボン社長

その土地にふさわしい新し
 い価値を生み出すことだ

日本には、市場として非常に興味がある。わが社はきつと成功するだろう。なぜなら、すでにイタリアをはじめヨーロッパ各国でコンサルティング活動の実績を持ち、高い評価を得ているからだ。

ヨーロッパはアメリカと違い、興行
 きが多く取れない。またショッピング
 のパターンも違う。そうした実状を踏
 まえ、昔ながらのシステム、伝統をブ
 レークすることなくコンテンツポラーリ
 な作品を作ってきている。

ソシアル、そしてカルチャーという
 視点を忘れることなく、その国のその
 土地にふさわしい新しい価値を生み出
 すこと。それがわが社のやり方である。